

第33号



ニュース

URL ; www.tops-h.net

加盟団体

- ・ NTT西日本広島
- ・ ソフトテニスクラブ
- ・ サンプルチェ広島
- ・ 中国電力陸上競技部
- ・ JTサンダース
- ・ コカ・コーラウエスト
- ・ 湧永製菓
- ・ レッドスパークスホッケー部
- ・ 広島メイプルレッズ
- ・ 広島東洋カープ
- ・ 広島ガスバドミントン部

NTT 西日本広島ソフトテニス男子！日本リーグ優勝！！

2年連続16回目優勝 史上初の6連覇への橋掛け

9~11日に、広島県立総合体育館で行われたソフトテニス日本リーグ。男子は2年連続16回目の優勝！女子は5位という結果に終わった。

男子、勝てば優勝という最終戦は、因縁の相手、京都市役所と対戦。第1試合目は長江・村上ペア。2試合目のシングルでは、原選手。3試合目は、堀・岩崎ペアが出場。1試合目は、序盤から攻めていき、快勝。2試合、初めは2ゲーム先行され、苦しい戦いだったが、3ゲーム目から見事に逆転を決め勝利。この対戦で、優勝が決まった。第3試合は、堀・岩崎ペアが負けるもチームは勝利した。

今回、優勝を決めた原選手は、「自分で優勝を決めるつもりで臨んだ試合だった。2セット目までは苦しい試合ではあったが、3ゲーム目の最初のポイントが決まって流れが変わった。」

藤川監督は、「今回は全員で勝ち取った大会だった」とコメント。

監督は試合前に選手に個々の自覚として、出た選手が誰にも頼らない。と言っ

て選手を送り出していた。目標である、史上初の6連覇に向けて引き続き頑張ってもらいたい。

記者会見を行った。記者から前監督であるベトロヴィッチ監督はどのような存在であるかという質問に対して、「全国からも注目を集める攻撃的サッカーを作り上げ、選手との絆も強く尊敬している人だ」と語った。そのような思いもあり、森保新監督は後任の話が出た際に少し戸惑いもあったが、後任の監督を受け入れた。「選手やコーチの経験を経てサンプルチェ新監督の森保一がいたため、今度はこのチームを継承し、さらに進化させ、貢献していきたい」と決意表明。

森保新監督の座右の銘は挑戦する、チャレンジングなことだ。チームに大切なものはまず何かを見出し、向上心を持ち、殻に閉じこもらず選手一人ひとりが伸びて行けるようにしたい。」という強い思いを語った。

森保新監督は、前監督の攻撃的サッカーに加えて守備面も力を入れたいとしている。これが見せる新監督の采配に期待したい。

「夢が叶った…」 サンプル生え抜き第一号 森保一新監督

女子の結果

NTT 西日本広島	● 0-3	東芝姫路
	● 1-2	ナガセケンコー
	● 1-2	ヨネックス
	○ 2-1	阿波銀行
	○ 2-1	タカギセイコー
	● 0-3	太平洋工業
	○ 2-1	ワタキューセイモア

男子の結果

NTT 西日本広島	○ 2-1	京都市役所
	○ 3-0	トヨタ自動車
	● 1-2	東邦ガス
	○ 2-1	宇部興産
	○ 2-1	川口市役所
	○ 2-1	大鹿印刷
	○ 3-0	J×日鋼日石 エネルギー水島



← 試合途中の水澤選手

お疲れ様、感動をありがとう！ 油谷選手・尾方選手

中国電力 陸上競技部

18日に山口で行われた防府読売マラソンで、油谷選手が引退。油谷選手は、2001年・2003年の世界選手権で5位入賞、アテネ五輪でも5位の実績をもつ選手であった。

油谷選手は引退を表明してから、地元で引退マラソンをすることを希望していた。試合当日は右の股関節に故障を抱えていることもあり、30Km付近で棄権。引退マラソンを走りきることが出来なかった。レースを終えた後、競技場前で家族や中国電力陸上部員達に迎えられ、家族から労いの言葉とともに花束を受け取った。

悔しさをにじませながら「息子たちの前でゴールしたかった。選手としてはこれが最後。これからはコーチとしてチームを作り上げていきたい。」とコメント。

また福岡国際マラソン（4日福岡）で尾方選手も引退することを決意。尾方選手は2004年の福岡国際マラソンで初優勝、北京五輪で代表として出場の経験がある。尾方選手は「いろいろな方に応援していただいて、ここまで続けることができました。今後はどうなるかわからないが、せっかくここまでやってきたので「走る」ということには関わっていききたい。

現在陸上競技に取り組んでいる方には、目標を持ってそれを達成できるよう努力してほしい。達成できなくても、それは決して無駄ではないということ。本当にありがとうございました。」とファンにメッセージを送った。今後については、陸上教室やイベント講演会など出来ることをやっていく予定である。

今まで数々の大会に出場し、私達に多くの感動を与えてくれた2選手が引退で寂しくなるが、2人にはこれからも陸上競技に関わって欲しい。



森保一 新監督



一激励会での様子



5日に市内のホテルでJTサンダーズ激励会が行われた。この激励会では、抽選20組40名のファンの方も参加し、選手たちと写真撮影や握手などして交流を深めていた。普段交流出来ない選手たちと話ができファンの方々はうれしそうだった。

FIVBワールドカップ2011に出場した八子選手は、「ワールドカップに参加して課題が見えてきた。リーグでは優勝を目指したい。全て勝つことが目標！！」とコメント。キャプテンの國近選手は、プレミアリーグについて、「昨年5位で終わった悔しさを常にもち、限界をつくらずして、選手全員が頑張るチームとしても、個人としてもスキルアップしている。」と勝利への意気込みを見せた。

また、14日～18日まで東京体育館で平成23年度天皇杯・皇居杯全日本バレーボール選手権大会が行われた。JTサンダーズは15日の二回戦でモリタ製作所をストレートで下すも、16日の準々決勝でパナソニックパンサーズにフルセットののち惜敗した。この大会では、パナソニックパンサーズが2年ぶり2回目の優勝となった。



JT	○ 3	0	モリタ製作所
	25	—	22
	25	—	18
	25	—	19
JT	● 2	3	パナソニック
	25	—	22
	23	—	25
	25	—	20
	16	—	25
	7	—	15

新入団選手発表で思いを語る

13日に新入団選手発表記者会見が行われた。ファン倶楽部会員の特典として5000人を超える応募の中から選ばれた100名のファン倶楽部会員が招待された。新入団選手発表にファンを招待したのは今回が初である。

会見は緊張した面持ちで8人の選手の入場から始まった。今回大注目のドラフト1巡目の野村選手は、「強気なピッチングをしたい。記憶に残る選手になりたい。選手を代表する選手になりたい。」と抱負を述べた。野村選手のセールスポイントは、「ボールコントロールと、切れの良さ」である。ドラフト2巡目の菊池選手は、「守備と足でチームに貢献したい。ゴールデングラブ賞を取りたい。」と強気なコメント。会見で選手たちのコメントを聞いた野村監督は「キャンプでしっかり準備をして、



僅差！世界選手権敗退… 惜しくもロンドン五輪逃す！



9日ハンドボール女子の世界選手権の一次リーグ最終戦が行われた。C組であった日本は通算2勝1分2敗同組4位で決勝トーナメント進出を決めた。日本が決勝進出するのは久しぶりであった。

12日決勝トーナメント一回戦でデンマークと対戦。延長戦の後、22-23で惜敗し優勝チームに与えられるロンドン五輪の出場権を惜しくも逃した。来年5月に行われる世界最終予選でのロンドン五輪出場権獲得に期待。

今回出場した植垣選手は、「体が国内では、大きい方でも世界が舞台になるとやはり日本人は体格が小さいことを痛感した。とにかく自分の役割を果たせる様頑張りたい」と五輪出場権獲得に向けての意気込みを見せた。

頑張っている。優勝ではなく日本一という言葉が聞けてうれしい。若鯉達の言葉が有言実行され、ファン達の前でその勇姿を見せてくれる日が待ち遠しい。

バドミントンの全日本総合選手権が5日～11日まで、代々木第2体育館で行われた。今回も今別府(ヨネックス)と組み、ダブルスに出場した小池は準々決勝で惜しくも敗退した。

また、17日に行われた日本リーグ戦はルネサスに0-3で敗れ1勝5敗となった。最終戦は25日に一部残留をかけ行なわれる。

1回戦	今別府 (ヨネックス) 小池 (広島ガス)	21-10 21-11	南出(尾山台高校教員) 長谷川(湊小学校教員)
2回戦	今別府 (ヨネックス) 小池 (広島ガス)	21-14 21-18	服部 (七十七銀行) 神 (七十七銀行)
3回戦	今別府(ヨネックス) 小池 (広島ガス)	21-19 19-21 11-21	松尾(パナソニック) 内藤 (パナソニック)

複小池組 4強を逃す

全日本総合選手権大会



20日市内のホテルで祝勝会が行われた。この祝勝会は、全日本社会人選手権で初優勝、高円宮杯2011女子ホッケー日本リーグで宿敵ソニーHCを破って優勝し今シーズン二冠を達成し行われたものであった。全日本社会人選手権では、荒天のため決勝は中止になり、ソニーHCと両チーム優勝。コカ・コーラウエストレッドスパークスホッケー部(CCWRS)にとっては初優勝となったが、直接戦い勝利を勝ち取り優勝すると一致団結し日本リーグに臨んだ。東日本大震災が起これ、西から元気を与えようと意気込んだことも今シーズンのCCWRSを強くしたのではないかと、MFの駒澤は優勝した際に、嬉しいという気持ちと共に涙が溢れたと話す。今シーズンは二冠でシーズンを終えたが、来シーズンは国体を含む大会で優勝し、四冠を目指すCCWRSは決意を新たにしている。柳承辰監督は、「目標である四冠は、自分たちの行動を改め、謙虚の姿勢から始まる」と話した。初優勝、二冠を達成し自信をつけたCCWRSに今後

*** ロゴマークの意味 *** 広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。